

平成17年度第2回理事会議事概要

日 時 平成17年5月20日(金) 13:30～14:00

場 所 特別会議室

出席者	理事長	大 熊 幹 章
	理事(企画・総務担当)	川 喜 多 進
	監事	真 柴 孝 司
	監事	井 上 徹 雄
	企画調整部長	石 塚 和 裕
	総務部長	周 藤 眞
	事務局(企画科長)	大 河 内 勇
	事務局(総務課長)	土 肥 史 朗

欠席者 理事(森林研究担当) 桜 井 尚 武

1. 開会

2. 議事

(1) 一般職員の採用について

(周藤総務部長)

<資料1：一般職員の採用について(案)により説明>

平成18年度以降の定員の削減状況が不透明であるので、平成17年度定年退職者を見込み、若干定数に余裕を持たせた数字となっている。

(井上監事)

今回の場合、次期中期計画に関わってくることとなる。現中期計画の中では一定の定員を削減するよう

になっているが、この基準は何を基に決められたものか。

(周藤総務部長)

国家公務員の定員削減計画に基づいて、その数字に準拠して決められている。現中期計画の中では、運営費交付金については、一般管理費と業務経費から効率化係数を減じた後に人件費を必要額見込んでいるが、人件費については、定員削減計画による中期計画の期首と期末の常勤職員数が明示されている。平成18年度以降の削減数については不透明であるが、人件費も含めた総運営費交付金から効率化係数を減じるといった方法が示されることも考えられ、厳しい状況が予想される。

なお、平成13年度から非特定であった法人の例では、人件費も含めた総運営費交付金から効率化係数を減じているとのことであるが、定員の削減計画には触れられていないとのことである。

(石塚企画調整部長)

人数で縛られるのか、金額で縛られるのか不透明であるが、仮に人数で縛られるとなった場合、削減率によっては定員管理上、大変厳しい状況になることが予想される。

(大熊理事長)

本件については、説明のあったとおりの承する。

(2) その他

・独立行政法人評価委員会林野分科会について

(石塚企画調整部長)

第1回林野分科会は6月末の開催予定となっており、ワーキングチームとのヒアリングについては、7月22日頃を予定しているようである。

また、法人の評価結果に対する評価基準について、役員退職金に評価を反映させる仕組みができたこと等から100%以上の評価をできる基準が必要であるとの判断にたつて、新たにA+を入れる改訂を行ったとのことである。これに伴って、研究所が行う自己評価の部分にもA+評価ができるようになった。

(井上監事)

それは、農業関係法人も扱いは同じなのか。

(石塚企画調整部長)

S とするかA+とするかは別として、どの法人も横並びとなっているようである。

(大熊理事長)

本件については、報告のあったとおり了解する。

・会計検査について

(周藤総務部長)

詳細はまだ不確定であるが、7月11日から7月15日の間、当所及び林木育種センターに会計検査が入るとのことである。

(大熊理事長)

本件については、報告のあったとおり了解する。

次回の平成17年度第3回理事会は6月24日（金）を予定する。

3. 閉会